



先日長女が4歳の誕生日を迎えました。今はまさしく「もう4さいだからなんでもできるー！」の無敵期間。ありがたい事に平穏な日々を過ごしています。普段だったらつまずいて進まない朝の着替え等も、「おっ、さすが！4歳になったお姉さんはもう着替えを始めようとしているの？すご〜い！」なんて声をかけようものなら、突然スイッチが切り替わり、「そうそう！もうおわっちゃうよ。みてみて〜」と何とも機敏な動きと頼もしい返答が。いつもなら寝室から起きてきてリビングに来た途端に床に寝転がる娘。「ママ、おきがえやって〜」の一点張りなのですが“4歳”という言葉が聞くとお姉さんスイッチが入るようです。絵本やカレンダー、街中等で“4”という数字が目に入っただけで「4だって〜！4歳の4だね」と満面の笑みを見せてくれる位です。凄いものですね。いつまで続くかわからない4歳無敵期間ですが、“助かる〜”、“いつまでも続いてくれればいいのに…”とってはかりいるのではなく、「大きくなったね」「こんな事が出来るようになったんだね」「4歳になって嬉しいね」と大きくなった喜びに心から共感してあげたいと思います。

追記：早速無敵期間が終わりつつあります。今朝は起きてくるなり、「♪大きな栗の木の下で」をエンドレスで唄いながら、唄い終わる度に、歌中に拾った栗なのか、口に運んでずっとモグモグしているので、つい「その歌いつまで続くの〜？」と言ってしまいました。しかし、この姿も本来の娘の姿。「早く着替えてご飯食べて〜」と心の中で叫びつつ、久しぶりのマイペースな姿にほっこりした朝でもありました。

